

第3章 温室効果ガス排出量の推移

第1節 温室効果ガス排出量の推移

表6、図5に示したように、令和4年度（2022年度）の温室効果ガス排出量は、基準年度（平成25年度（2013年度））より284t-CO₂（3.6%）減少しました。

電力消費量は教育施設への空調機の導入などにより増加しているものの、空調機等の更新により全体として平成29年度（2017年度）から二酸化炭素（CO₂）排出量は減少に転じました。

令和5年度（2023年度）の温室効果ガス排出量は約6,100t-CO₂になると推計しました。

また、図6に示したように、温室効果ガス排出量の83%を電力消費が起源である二酸化炭素（CO₂）が占め、次いで、LPガス、A重油、灯油の順となりました。

表6 温室効果ガス各種及び合計排出量、電力消費量の推移

年度（和暦）	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
年度（西暦）	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
二酸化炭素	7,765	7,653	8,568	8,285	9,162	9,025	8,560	8,756	8,114	7,445
メタン	61	62	75	74	76	75	77	75	90	92
一酸化二窒素	1	<1	1	1	1	1	2	2	3	6
ハイドロフルオロカーボン	2	2	2	2	2	1	2	2	1	2
合計	7,829	7,718	8,646	8,362	9,241	9,102	8,640	8,835	8,208	7,545
電力消費量 (千 kWh)	15,737	16,328	15,436	16,147	16,418	16,748	16,910	18,016	18,002	18,199

※ 小数点第1位以下を四捨五入しているため、温室効果ガス4種の集計値と合計が一致しない場合がある。

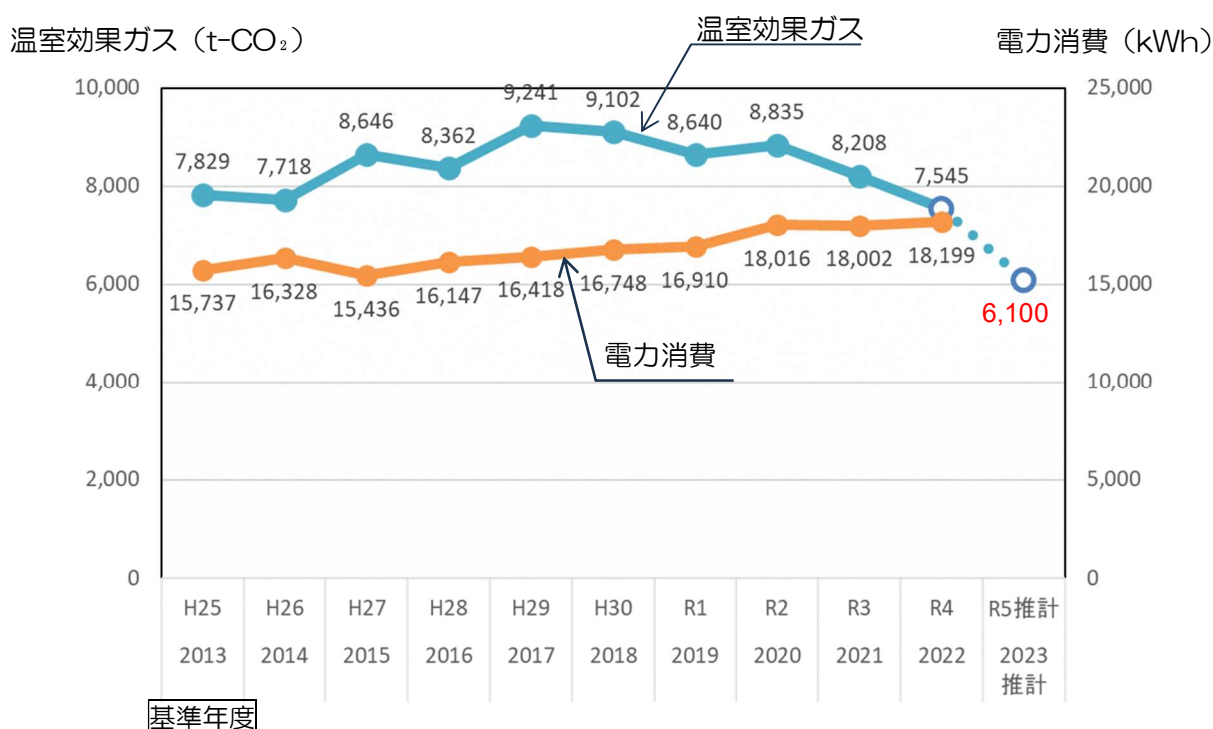


図5 温室効果ガス排出量、電力消費量の推移

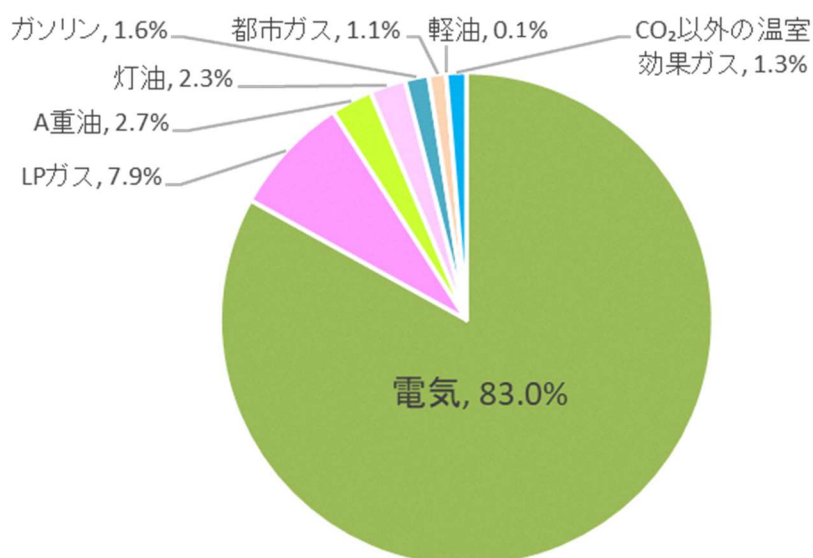


図6 令和4年度（2022年度）における温室効果ガス排出量占める排出源の割合

第2節 第4期実行計画の目標達成状況

第4期実行計画では、基準年度（平成25年度（2013年度））に対して令和5年度（2023年度）の温室効果ガス排出量を15%削減することを目標としました。

令和5年度（2023年度）の温室効果ガス排出量は、7施設を再生可能エネルギー由来の電力（非化石証書の利用）に切り替えた結果、図5に示したように、約**6,100t-CO₂**になると推計しました。

この結果、第4期実行計画の**目標は達成**できると判断しました。

第4期実行計画の 目 標	平成25年度（2013年度）7,829t-CO ₂
	➡（15%削減）➡ 令和5年度（2023年度）6,629t-CO ₂